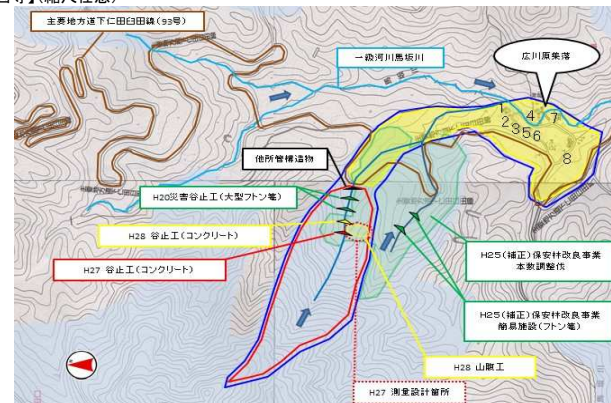


(様式2)新規評価シート

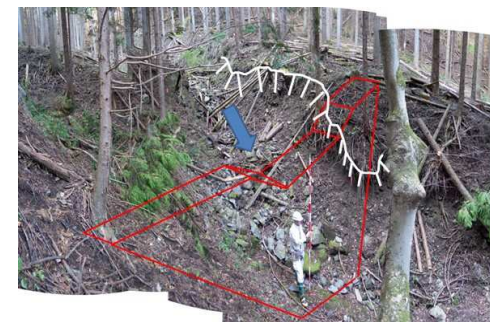
林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		一級河川 馬坂川	
事業毎の通番		4		市町村名		佐久市	
事業目的		当該地は、H25年台風18号により、山腹崩壊および渓床、溪岸の荒廃が発生し、下部の主要地方道下仁田白田線に大量の土砂が流出した。直下には、広川原集落もあることから、山腹工を施工し、発生源を復旧するとともに、谷止工を実施し、山脚の固定および渓床の安定、溪岸浸食防止を図る。		箇所名(ふりがな)		広川原(ひろがわら)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家8戸・主要地方道1,000m					
着手年度		平成27年度		事業期間		2年間	
完成年度(見込み)		平成28年度		費用対効果		4.51	
全体事業内容(主な工種)		谷止工2個		事業費(千円)		31,000	
年度事業内容(主な工種)		谷止工1個		国庫		15,500	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		人家8戸・主要地方道1,000mの保全			
		間接的効果(定量的・定性的)					
評価の視点		必要性		○人家戸数: 8戸 ○公共施設数: 主要地方道 ○災害時要援護者関連施設の有無: なし ○保安林・林業用施設: 60%		評価 B	
		重要性		○過去の災害履歴: 平成25年台風 ○交通遮断による地域経済への影響: 影響度大 ○地域防災計画上の位置付け: あり		評価 A	
		効率性		○費用便益比(B/C): 4.51 ○事業期間: H27~H28年度(2年間) ○工法等の比較検討: 検討なし ○流域の総合調整: 調整済		評価 A	
		緊急性		○流域の地形、地質: 第三紀層 ○平均渓床勾配(平均山腹勾配): 5°以上10°未満 ○下流の堰堤等の整備状況: おおむね満砂 ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: 崩301-17 C		評価 A	
		計画熟度		○事業情報の共有: 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: 住民関与が低い		評価 C	
		部意見		荒廃渓流の拡大により下方保全対象の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。		行政改革課意見	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	下流部にH19台風時に土砂が流出したため、H20災害谷止工を整備したが、H25年台風18号により、山腹崩壊および渓床、溪岸の荒廃が発生し、主要地方道下仁田白田線に大量の土砂が流出した。直下には、広川原集落もあることから、山腹工を施工し、発生源を復旧するとともに、谷止工を実施し、山脚の固定および渓床の安定、溪岸浸食防止を図る等、早急な対応が必要である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成25年度に地元住民から事業要望があった。
③事業説明等の経緯	地元住民に現況及び復旧計画等について説明済。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	施設整備に先立ち、H25補正保安林改良事業にて、災害に強い森林づくり指針に基づいた森林整備を実施済。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度  
北緯: N 36-10-58  
東経: E 138-36-36